



勝負の2学期始まる!

悔いを残さないために… 予報通りの猛暑が続いた夏休みでしたが、皆さん暑さに負けずに過ごすことができたでしょうか。受験生にとってはなかなか厳しい環境だったかもしれません。全国各地で「観測史上最高」や「最多」が報じられた夏でした。

さて、いよいよ2学期が始まりました。有意義な夏休みを送れた人もそうでない人も、3年生にとっては「勝負の2学期」です。2学期は進路選択の最終決断を下す時期になります。

進路の選択とは「将来の生き方」を考え、「自分が進む方向」を決めていくことです。今自分にできる精一杯の努力をした上で、しっかり考えなければなりません。

今学期は、学力テストごとに「進路希望調査」を実施します。それに合わせて、担任の先生との進路相談をします。進路相談では昨年までの資料をもとに「アドバイスと情報提供」をしますが、志望校を決めるのは自分です。11月末の志望校決定まであと3ヶ月。積極的に情報を集め、保護者としっかり話し合い、悔いのない過ごし方、悔いのない選択をしたいものです。

学習と生活を振り返ろう

第2回の進路希望調査では、ほとんどの人が進学を希望していました。進学を希望しているならば、合格を勝ち取るための努力をしなければならないということを忘れないでください。

2学期は、実力を伸ばす時期です。個々の実力を試すための3回の「学力テスト」と、2学期の成績に大きく関わる「定期テスト」……。次から次へとテストがやってきます。しかし、それに追いつくだけの生活にならないように、普段の授業や家庭学習を大切にしましょう。それが実力を蓄える近道です。

次の4つのことを反省してみましょう。

- 1) 授業には真剣で前向きな姿勢で参加しているか。
- 2) 提出物は期限を守ってもれなく提出しているか。
- 3) ルールや時間を守るといった、基本的な生活習慣が身についているか。
- 4) 目の前の宿題や課題をこなすのはもちろんのこと、学力テスト対策・受験対策を計画的に行っているか。

1)～3)は受験生に限ったことではありません。中学生としてごくあたりまえのことであり、高校に進学したあとも、必ず「あるべき姿」として求められます。今一度、自分を振り返り、メリハリのある学校生活を送りましょう。



今後の見通しをもって…

- 9月
- ☆進路希望の検討
 - ☆進路日程・手続の確認
 - ☆Aテスト結果による見通し
 - ☆学校見学会への参加
 - ☆受験校の調査
 - ☆第3回進路希望調査

- 行事と学習が交錯します。
いかにけじめをつけ、集中できるかが大切。
- 自分の課題 教科学習の見直しを。



- 10月
- ☆入試制度の学習
 - ☆Bテスト結果による見通し
 - ☆自分の進路希望の再検討
 - ☆第4回進路希望調査
 - ☆受験校の調査
 - ☆受験用写真撮影

- 自分の進路を具体的にイメージする時期。
- 弱い自分や焦りに負けないこと。素直な気持ちで自分自身を見つめよう。

- 11月
- ☆Cテスト結果による見通し
 - ☆第5回進路希望調査
 - ☆進路相談(教育相談)
 - ☆推薦受験者の集約・依頼書
 - ☆進路説明会の内容理解

- 自分の進路選択について、決断を下す時が近づいてきました。
- もう一度自分自身を、自分の進路を考えて、希望の最終確認をしよう。

学校説明会のお知らせ

北海道札幌東陵高等学校(公立)

(札幌市東区東苗穂 10 条 1 丁目 2-21) *中学3年生・保護者

【第1回学校説明会】

□日 時／9月26日(土)9:30～11:00 受付開始／9:00

□場 所／札幌東陵高等学校

□内 容／アトラクション・学校紹介・個別面談・部活見学

□申 込／8月26日(水)16:00～9月18日(金)16:00

□持ち物／上靴



マッカーサーとアイゼンハワー

マッカーサーといえば、日本にとってはなじみの深い人物だと思います。第2次大戦の終結時、颯爽とした姿で日本に乗り込んできた彼の姿は、資料集の写真や、VTRの映像などで1度は見たことのある光景です。

このマッカーサーという人物は、名家に生まれ、まるで貴族のような高貴なイメージを備えていました。しかも、陸軍大学始まって以来という優秀な成績で卒業した超エリートで、周囲の期待も厚く、本人も自分は世界に名をとどめる人物だと自覚して行動していたそうです。まさに周囲に敵無しの前途洋々さだったわけです。

ところが、そんなマッカーサーの前に立ちふさがったのがアイゼンハワーでした。陸軍士官学校を平凡な成績で卒業しただけのアイゼンハワーは、マッカーサーにとって最初は気にもとめない存在だったのです。もちろん、軍人としての出世もマッカーサーの方がはるかに早いものでした。

ところが、大戦半ばあたりから形勢は逆転します。東南アジア戦線で敗北を喫し、撤退を余儀なくされたマッカーサー。一方、才能をフルに発揮し始めてどんどん出世するアイゼンハワー。とうとうマッカーサーよりひと足早く、軍人最高位の元帥にまで登りつめ、ついにはご存じの通り、大統領に就任してしまいます。腐らず、あきらめずに頑張って、すばらしい未来を切り開いたという一例です。